



上越市議会議員 宮崎朋子 議会通信

ミヤザキトモコ ギカイツウシン

◆議会のポイント

- 令和2年度決算、4つの特徴 / 補正予算について
- 今冬は大丈夫? ~ 上越市の雪対策 ~

◆宮崎朋子の一般質問/委員会質問

◆地域の情報 ~ 道路事情、災害対応の進捗 ~

◆議員活動奮闘記 ~ 味方と見方 ~

Vol.6

発行月 2021年11月

所属

- 会派 創風
- 農政建設常任委員会
- 広報広聴委員会
- 新型コロナウイルス調査対策特別委員会
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 三和区国県道整備促進期成同盟会
- 桑曾根川・錦川改修促進期成同盟会
- 飯山・牧間県道昇格並びに整備促進期成同盟会
- 防災士議員連盟

事務所

- 〒943-0231 新潟県上越市三和区鴨井471
- 携帯 090-3545-6087
- q8s-3n8h@joetsu.ne.jp
- FAX 025-333-0424

地域の農業政策に
取り組みます!

市民と市議会
を結びます!

市民生活の安心
安全のために
尽力します。

解決へむけて
頑張ります!

発行者/上越市議会議員 宮崎朋子

表紙の色 「きはだいろ」
古代から染料や薬に使われた落葉高木の黄色

動く!しゃべる!動画チャンネル
「B面ともこ」開設しました!

パソコン、携帯、スマホ
から是非ご覧ください。



YouTube B面ともこ

宮崎朋子 議員活動 奮闘記

~ 味方と見方 ~

日々のお困りごと、地域のお悩みなどを伺うことも多くなりました。心掛けるのは、「一旦、無になって考えること」です。「今までこうだったから」とか「こうに違いない」とか、自身の少ない経験や偏見で判断しないように。議員は、市民の味方ではあるけれど、その見方を誤ってはいけません。人の心に寄り添いながら、こんがらがった糸をほどいていくような、繊細さと柔軟さが必要なこと。それを学べた秋でした。



活動記録 (7/4~10/31)

- 市内団体合参加 (9回)
- 市内団体行事参加 (5回)
- 市民要望調査研究道路、河川、福祉等8件
- 研修参加 (人権・同和教育)
- 会派勉強会 (農業政策/令和2年度決算)
- 特別委員会傍聴 (人口減少調査対策4回/災害対策2回)
- 議会通信発行
- 個人視察 (発達障害支援・就労支援施設/民間幼児教育組織)
- 常任委員会傍聴 (文経委員会・小木川直江津航路/総務委員会・住民自治の在り方・交通安全計画)
- 広報広聴委員会 (模擬議会1回/議会見学対応3回/委員会4回/市民意見交換会3回)
- 議員勉強会3回(オンライン会議の可能性/通年議会/脱東京一極集中!地方の元気を創る)
- 地域協議会傍聴 (和田区/三和区/安塚区/頸城区/牧区/吉川区)
- 県道新井柿崎線議員連盟要望活動
- 市民団体と女性議員の意見交換会に出席 (2回)
- 各層との意見交換会
- (町家の空き家対策について)
- 本会議(9月1日~28日)
- 委員会傍聴(総務/厚生/文教経済)
- 農政建設常任委員会
- 大学生からの質問に对应(都市計画関係3名カ)
- 市内アートイベント見学(3回)
- 町家再生イベント見学(1回)



市民団体の会合に参加。

など

● 12月議会の予定
11月30日(火)~12月14日(火)
議会傍聴は是非お越しください!

地域の情報

◆県道新井柿崎線整備促進に向けて

県道新井柿崎線整備促進議員連盟では、今年も市議、県議による県への要望を行いました。地元の悲願は、少しずつ前進に向かっていきます。地元議員、総力をあげて早期整備完了に向け、取り組んでまいります!



道路改良を要望(三和区にて)

◆国道8号や253号などの渋滞解消期待大!~黒井藤野新田線~

農政建設常任委員会にて「都市計画道路 黒井藤野新田線」の工事の進捗を視察しました。昭和36年から始まり途中、延長や幅員等の計画変更を経て、総延長5310mの道路が出来る予定。全線開通には歳月を要しますが、今後、朝晩の渋滞緩和と直江津港や県営南部産業団地からの物流輸送効果が期待されます。



工事は5区間に分けて整備していきます

◆災害に備えて~上越市が排水ポンプ車を購入~



全長7.6m、8tクラスの車両

令和2年度に上越市が購入した排水ポンプ車。県内の自治体で所有しているのは上越市だけ。威力は可搬式消防ポンプの実に23台分に相当!(25mプールの水を約20分で排水するとのこと)近年心配される、内水氾濫等の災害に備えます。現在は、上越消防署に配備されています。



令和2年度決算

歳入 167,091,906,000円（一般会計+特別会計）
歳出 161,804,040,000円

令和2年度決算 4つのポイント

- 1、令和2年度は、地方交付税（国から地方自治体へくるお金）は増額され、上越市もコロナ対策を含む重点政策を行った。
- 2、過去に類を見ない、13回もの補正予算を編成し、スピーディーに市民の安全・安心な生活と経済対策につとめた。
- 3、当市では、35年振りの大雪災害が発生し、国の災害救助法適用と、財政支援措置を行った。
- 4、財政調整基金は、コロナ対策や除雪費増により取り崩しがあつたが、第三セクター等改革推進費の繰り上げ償還（予定より早く返済すること）や市債の発行を抑えたことなどにより、最終的には88億3251万円となった。
しかしながら、今後大雪や災害などが起こることも予想されるため、今後も基金の確保は必要。

コロナ対策に奔走した1年

補正予算編成はなんと13回

35年振りの災害級の大雪

財政調整基金は、積み増しが出来た

9月補正予算 補正額 1,329,771,000円

- ①新型コロナウイルスに関するワクチン接種 ②感染症拡大防止給付金事業 ③感染症経済対策事業などに使われます。（詳しくは、広報上越をご覧ください）

今冬は大丈夫？ ～ 上越市の雪対策 ～

7月にこの度の大雪災害の対応について担当課より中間報告がありました。市議会においても多くの質疑がなされ、民生委員等の負担軽減、空き家倒壊の不安など、地域の課題も浮き彫りになりました。市では冬期に向けて、今後の方針をまとめるとしてあります。



<p>情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 敏速な情報発信のためにライブカメラやテレビのdボタン活用等を検討 ◆ ゴミ収集等、生活に関する情報経路の確保 ◆ 市民、ドライバーへの敏速な情報発信など 	<p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 町内会・自主防災組織等への支援制度（道路除雪対象）の検討 ◆ 停電等に備えた関係機関との連携強化 ◆ 倒木や伐採処理の課題 ◆ 雪下ろし被害を防ぐ対策（命綱、固定アンカー設置補助制度） ◆ 総合事務所との連携など 	<p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 臨時休校等の連絡体制強化 ◆ 迂回通学路の確保など 	<p>除雪</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 雪捨て場の確保 ◆ 雁木や住宅街での除雪体制の検討 ◆ 除雪事業者との連携 ◆ 除雪管理システムの改良など 	<p>農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 経営基盤の確保 ◆ 保険等セーフティネットや融資制度の拡充など
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

市民のみなさまに、特に関係する項目を独自に選んで記載しています。詳しくは、上越市HPをどうぞ → <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>

宮崎朋子の一一般質問



この度は、大きく2つのテーマで質疑をいたしました。
まず「コロナ禍における市民の消費動向と、当市の消費税交付金について」質問をいたしました。財政の質問はいつも脳が汗をかく思いです。
次に、イベントやお祭りなどソフト事業において、高齢化や担い手不足の課題が著しい昨今「中心市街地のまちづくりはどう取り組んでいくべきか」について質疑をいたしました。まちづくりに関しては、より具体的な聞き方が必要だったと感じています。

1 コロナ禍において、個人の消費動向はどう変化したか？

答 「飲食料品」で期間を通じてほぼ横ばいから微増。また「衣服、身の回り品」では、今年に入り数%の売上げの減少が続いていいる。「燃料」は、昨年5月に25%落ち込んでから、徐々に回復はしているが期間を通じて売上げが減少している状況。
「外食」では昨年9月に25%、「旅行」では昨年4月に45%と、最大の落ち込みを見せた後、一時「G.O.T.イート」や「G.O.T.トラベル」により回復がみられたが、総じて消費が大きく停滞している状況が続いている。
一方で「小売業」の「eコマース」（インターネットでの商売）などでは、消費の増加が2桁台の伸び率を示し、県内においても「菓ごもり」の消費動向が見られる。

2 消費が落ち込んだ場合、当市の地方消費税交付金に影響は無いのか？

答 地方消費税は、地域福祉の充実を図るための財源として徴収されている。時々の社会経済情勢の変動により市税等が減収となったとしても原則、その75%が普通交付税で措置される仕組みとなっている。また、基本的な消費税収入の増減で、市民サービスに大きな影響が及ぼされることは無い。よって地方消費税の減収は、当市の財政運営上、大きな懸念には至らないと考える。
今後、国庫支出金や一般財源など所要の財源確保に注力していく。

3 高田、直江津においては整備事業などハード面でも期待が持てる。今後このような総合的な取組が市内各地へ波及することを希望するがどうか？

答 平成28年度から5か年にわたる地域再生計画。かけた費用は約7億円（ハード事業含む）成果として、社会減緩和がみられる。市内への横展開については、次期総合計画も含め今後も市民や議会と議論しながら考えていきたい。

4 商店街支援については、どのように考えているか？

答 若手商店主との意見交換や、デジタルを活用した情報発信など新たな取組もみられる。今後も歴史的、文化的資源を活用したまちの魅力づくりとマーケティングを、積極的に支援していきたい。

【農政建設常任委員会】

宮崎の質問（抜粋）

- * 農業委員会（農業年金の加入状況）について
- * 緊急簡易貯留施設整備の効果について
- * ニホンジカ捕獲増の要因と取組について
- * 上越版クックパッドの反響について
- * ブロック塀など撤去支援事業の課題について
- * 消雪施設管理費について
- * 緊急自然災害防止対策事業の課題について
- * まちなか居住事業とまちなか高度利用促進の進捗について
- * 排水ポンプ車の性能、役割について など

